



プロジェクトのロゴが決定！

内容：

プロジェクトパイロット市決定	2
ベースラインKAP調査員研修	2
パラグアイ発、国際地域保健フォーラム	3
サントドミンゴ市KAP調査	3

プロジェクトは、7月に開催した第1回プロジェクト運営委員会でプロジェクト名を決定し、8月に開催した第2回運営委員会でプロジェクトのロゴを決定しました。母と子どもの健康プロジェクトというで、母と子どもを題材にしたデザインを10通り作成し、その中から選定しました。

プロジェクト名：プロジェクトSAMANI

SAMANI（さまに）は、スペイン語の“**Salud Madre y Niños**”（母と子どもの健康）から各単語の頭の2文字を取り出しました。

プロジェクトロゴ：

チョンタレス県の中心都市で、チョンタレス保健管区事務所が所在するフィガルパ市の中心広場に、「母と子ども」をデザインした像が建っています。

これから4年間、このプロジェクト名とロゴが、チョンタレス保健管区およびセラヤ・セントラル保健管区に限らず、国内に広まることを期待します。



プロジェクトロゴ

ベースライン調査、第一段階開始

お知らせ：

- 10月25日 村上友美子短期専門家（健康プロモーション）着任
- 2015年10月29日 プロジェクト開始式（フィガルパ市）
- 2015年10月29日30日 プロジェクト半期評価会開催

プロジェクトは、チョンタレスおよびセラヤ・セントラル保健管区内の母子保健状況を把握するため、ベースライン調査に取り組んでいる。調査は2段階に分け実施します。

第一段階では、中央・保健管区・支所・保健セクターとレベル別において、保健省職員による調査を実施し、社会基礎データと母子保健データを収集します。

単にデータを集めるだけではなく、各レベルにおけるデータの管理、活用状況を確認することを目的としています。特に母子保健データについては、単にデータを収集することを目的としていることが散見され、データ収集後の分析やフィードバックが疎かにされている場合があります。

8月13日に両保健管区で個別に開催された保健技術委員

会では、入力方法を説明した上で調査様式（デジタル様式および書き込み様式）を関係者に配布しました。保健技術委員会は、保健管区の幹部職員と各支所長が参加し、毎月2回開催されています。第一段階の調査データを基に、プロジェクトではパイロット地区の候補地を選定する予定です。

プロジェクトパイロット市決定

8月に実施したベースライン調査の第1段階の結果及び、社会資本情報、行政組織・人材情報などのデータを基に、プロジェクトではパイロット市（候補）4市を選定しました。

パイロット市は

①アコヤパ市（SILAISチョンタレ

ス）

②サント・ドミンゴ市（チョンタレス）

③ヌエバ・ギネア市（セラヤ・セントラル）

④エル・ラマ市（セラヤ・セントラル）

パイロット市とは、プロジェクト

が初期段階で中心的に活動すること、今プロジェクトの主な目的のひとつである「住民参加型の保健強化活動において、実践的なモデル」の取り組みを試験的に導入します。その活動の知見を集積し、実践モデルを確立する計画です。

プロジェクトパイロット地区



ベースラインKAP調査員研修



ヌエバ・ギネア ウラカン
大学調査員研修

プロジェクトのベースライン調査は第2段階に突入しました。プロジェクトで選定したパイロット地区において、2014年に分娩した女性を対象としたKAP調査開始です。KAP調査では、対象者の知識（Knowledge）・態度

（Attitude）・行動（Practice）に関する情報を収集します。今回のKAP調査は、調査対象者が女性であり、その内容が母子保健に関わることから、調査員による回答の誘導を防ぎ、第三者的な立場で情報収集を行うために、保健分

野を専攻していない地元の女子大生を調査員に採用しました。女子大生には調査実施前に半日間の研修を開催し、調査手順、質問方法、注意事項、現地の状況などを説明しました。

パラグアイ発、国際地域保健フォーラム

9月23日から3日間の日程で、国際地域保健フォーラムがパラグアイのアスシオンで開催されました。中南米・カリブ海地域から8か国の保健行政担当官のほか、PAHO（米州保健機関）米国本部やJICA本部からも参加者があり、パラグアイ国内関係者と合わせ総勢約180人による大会になりました。ニカラグアからは、本省の保健サービス総局のマリア・エストラーダ保健サービス課長、チョンタレス保健管区長のサミール・アギラル局長と本プロジェクト総括の中村二郎の3名が参加しました。

フォーラムの目的は、各国で行っているプライマリー・ヘルス・ケア（以下、PHC）の現状に関して意見交換を行い、そこで得られた情報やアイデアを、自国の地域医療サービス向上につなげることで、および、これを、今後の情報交換継続に向けた足掛かりとすることです。PHCとは、1978年にアルマ・アタ（現在のカザフスタンのアルマトイ）で宣言された定義で、住民が主体となって問題を解決してする方法・理念です。

JICA本部から参加した杉下専門員は、21世紀のPHC

は、患者を待つ（受動的）医療サービスではなく、患者がいるところへ赴く（能動的）保健サービスであり、その重要性について講演しました。

これはニカラグアの本案件で強化しようとするサービスの形でもあります。

ニカラグアの発表は、「1次・2次・3次が連携した緊急医療」の知見に関して、アギラル局長が事例を紹介しました。



国際地域保健フォーラム
発表するサミール・アギラル局長



サントドミンゴ市KAP調査

KAP調査は、4市あるパイロット候補市の中からサント・ドミンゴ市を皮切りに始めました。調査対象地は高低差の激しい山間地であり、草原の中を歩いたり、場合によっては馬に乗ったりして、女性が住む家々を

訪問します。道に迷うことも多いため、地元住民の協力を得ての実施になりました。サント・ドミンゴ市の調査は2日間にわたり、90名の母親をインタビューしました。



サントドミンゴ市ブルン村で調査をする大学生と道案内の少年

SAMANI プロジェクト

プロジェクト事務所：SILAIS Chontales

Banco BDF, 3c. al sur, Juigalpa, Nicaragua

Telefax : (505) 2512-2906

E mail: proyectosamani@gmail.com

「チョンタレス保健管区およびセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト」は両保健管区の妊産婦と2歳未満児を対象とした保健医療施設でのサービス提供能力、健康に関するコミュニティ活動、SILAISの行政能力の強化を行うことにより、質の高い保健医療サービスの利用促進を図り、母子の健康リスクを軽減させることを目的としています。

健康な家族は、集落の幸せ！



SAMANIプロジェクト運営委員会メンバー

おわりに

今回のKAP調査では調査員派遣を快く受け入れていただいた、フィガルパ市チョンタレス自治大学フィガルパ学、エル・ラマ市マルティンルテオ大学、ヌエバ・ギネア市ウラカン大学、各大学長及び協力していただいた皆様へ心から感謝の気持ちと御礼を申し上げたく、謝辞にかえさせていただきます。

